

謝罪文

甲野花子様

この度は、私が起こしてしまいました暴行事件について、甲野花子様にご心よりお詫び申し上げます。

私の身勝手な振る舞いで、甲野花子様にご多大な恐怖心をおかけしてしまいましたこと、ご迷惑をおかけしてしまったこと、誠に申し訳ございませんでした。

甲野花子様には非がないにもかかわらず、理不尽な事を言った挙句、暴力行為に及び、己の愚昧さを今更ながら後悔するとともに、深く反省しております。

このようなことで償いになるとは思っておりませんが、せめてものお詫びの気持ちとしまして、慰謝料をご用意させていただきました。お許しを乞うのもおこがましいですが、謝罪の気持ちといたしましてお受け取りいただけましたら、幸甚に存じます。

今後は決して甲野花子様にご近づかないことはもちろんのこと、二度と同じようなことを繰り返さないためカウンセリングに通うなどの対策を講じ、今までの己を見つめ直していくことを、固く誓います。

改めて今回の事件で、私の行いが大変なご迷惑をお掛けしましたこと、深くお詫び申し上げます。

本当に、申し訳ございませんでした。

令和元年5月15日

鈴木太郎 印